



# 地震

# 清水町 堂庭地区

## わたしの避難計画 作成ガイド

### 手順④ 地震・液状化のリスクを確認(記入はありません)

#### ◎堂庭地区の地震による危険

震度6弱の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

#### ◎震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる	物につかまらなさと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

#### ◎液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったたり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

### 手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

#### 大地震発生時

- 体勢を低くし、固定されたテーブル等の下に入り頭を守る
- 動かずじっとする

#### 揺れが収まったら

- ブレーカーを落とす(通電再開時における発火の防止)
- ガスを止める

各地区の一次避難先に集合

#### 自宅に被害があったら

指定避難所へ避難

#### 自宅に被害がなかったら

自宅で待機

山折り

#### ★堂庭地区の一次避難先の一例

- ・堂庭児童遊園地 など

### 情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。



清水町 緊急防災メール

避難情報やハザードマップが確認できます。



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。



国交省 川の防災情報(狩野川)

### <目次>

	手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入	P1
大雨	手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
	手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震	手順④ 地震・液状化のリスクを確認(記入はありません)	P4
	手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入	P4

### <見本>

作成日 2020年〇月〇日 わたしの避難計画 (清水町 〇〇地区)

作成ガイドを見て家族の状況や災害リスクなどを記入しよう!

手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

避難に時間がかかる人  いる 1人 → 支援してくれる人の名前  いない

避難先  連絡先

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫の危険 浸水のおそれ  浸水なし  浸水あり 浸水深 0.5~3.0 m

家屋倒壊等氾濫想定区域に  ない /  ある

土砂災害の危険  該当なし  土砂災害警戒区域  土砂災害特別警戒区域

ご自身に必要なものをあらかじめ用意しておきましょう。【持ち出し品リストの一例】

現金・通帳  携帯ラジオ  携帯電話  充電器  懐中電灯  マスク  飲料水  非常食  着替え  常備薬・持病薬  消毒液  体温計

その他の持ち物【  ]

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

大雨  河川氾濫の危険  土砂災害の危険

●避難のタイミング  高齢者等避難  叔母の家

●避難先  清水町緊急防災メール

●情報収集手段  自由記入欄(連絡先等) 叔母 090〇〇

手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

大地震がおさまる

地震  ・ブレーカーを落とす・ガスを止める  ・窓を開ける

地区の一次避難先  〇〇児童公園 に集合

自宅に被害があったら 指定避難所へ

自宅に被害がなかったら 自宅で待機

自由記入欄(連絡先等)

----- ↓手順に従って、「わたしの避難計画」に記入しましょう ↓ -----

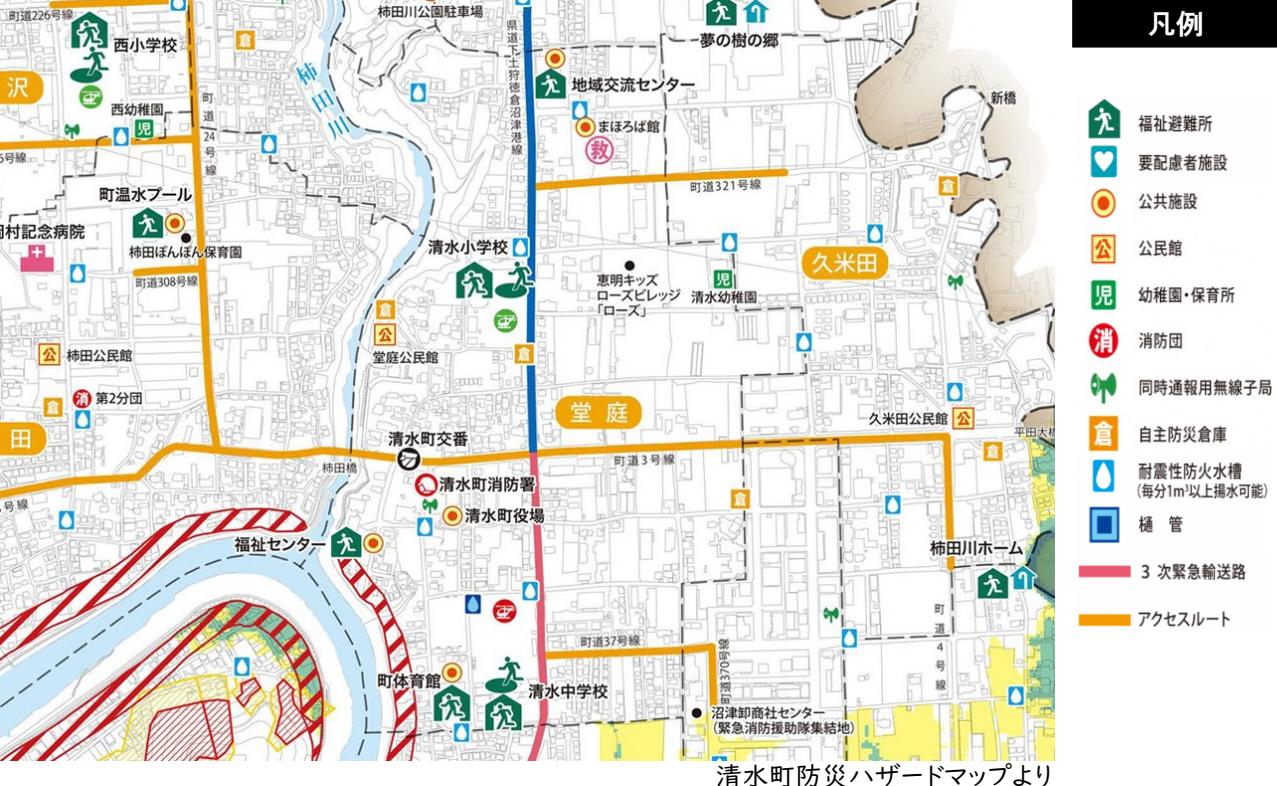
### 手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

- ・避難に時間がかかる人がいるかどうか、「わたしの避難計画」に記入しましょう。
- ・避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。  
避難支援の相談先：地元の民生委員  
清水町福祉介護課地域福祉係

# 大雨(河川氾濫・土砂災害)

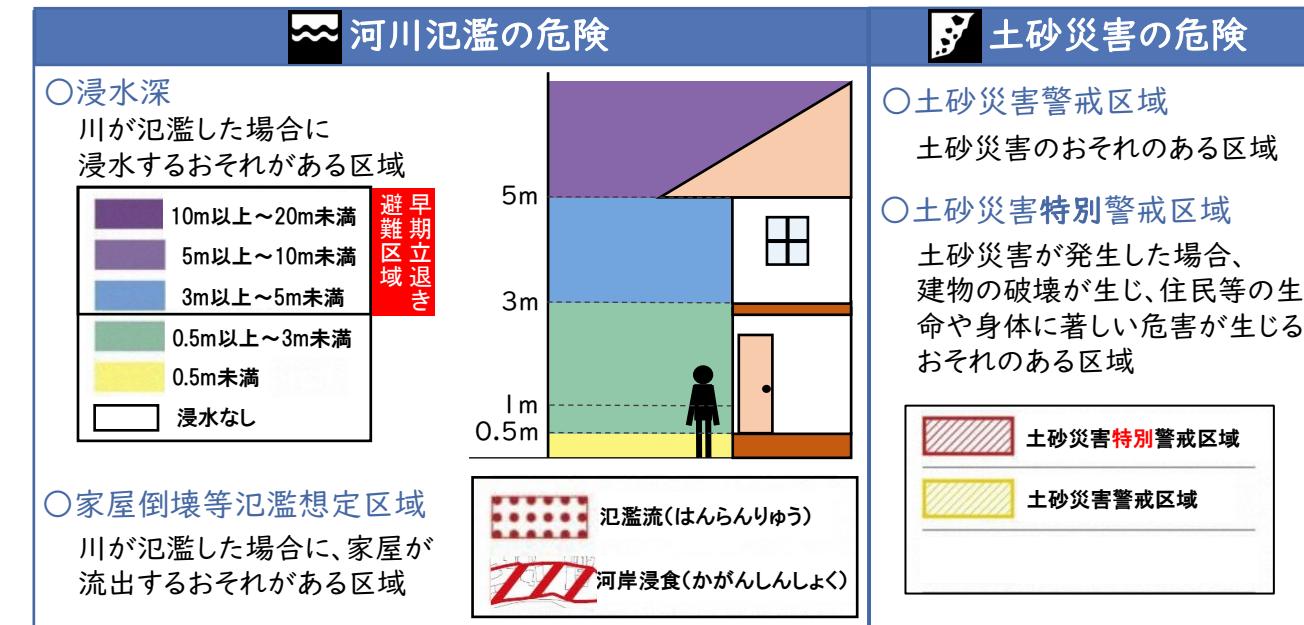
## 手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を地図に記入しましょう  
(わかりにくい場合は清水町防災ハザードマップで確認しましょう)



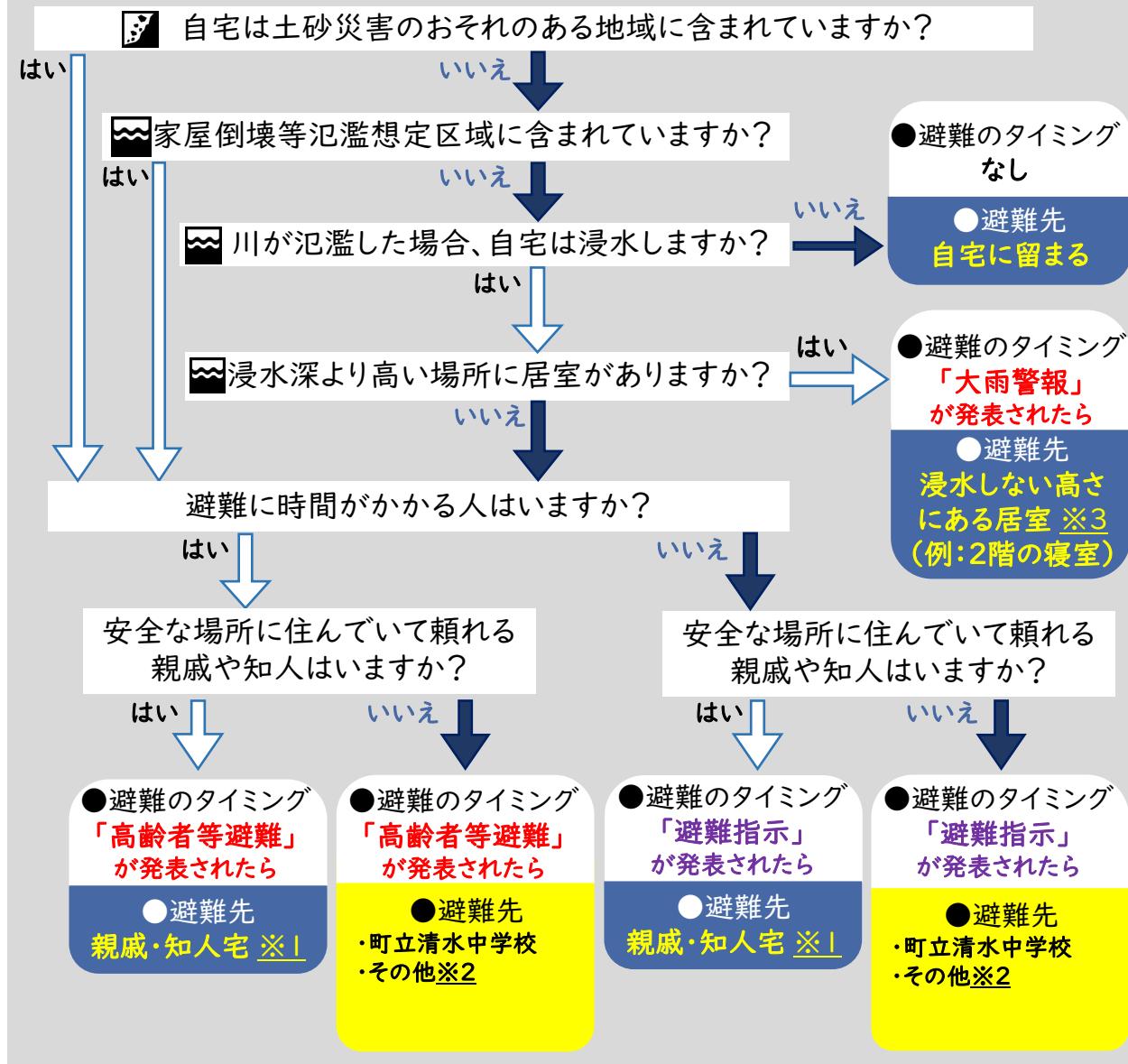
堂庭地区は浸水区域がないため、色が塗られていないことを確認しましょう。

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう



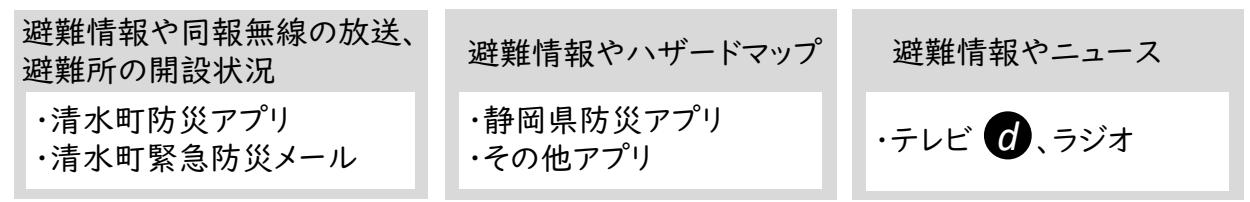
## 手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。  
 ※2 ホテルや温泉施設等への避難も避難場所の選択肢の一つです。  
 ※3 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※町の防災アプリや緊急防災メール、県防災アプリについて、4ページに2次元コードを掲載しています。